

2023年8月10日

報道関係者各位

株式会社ベルコ
みどり生命保険株式会社

コロナ禍における葬儀に関するアンケート調査結果
第3弾:喪主等経験層と喪主等以外層における葬儀に対する意識比較報告
～コロナ禍の葬儀簡素化傾向に対する意識に大きな違い～

人生の二大行事である「冠婚葬祭」を、互助会という助け合い事業を通じて、お手伝いしてきた株式会社ベルコ(本社:大阪府池田市、代表取締役社長:齋藤 斎、以下「ベルコ」)とベルコグループ企業であるみどり生命保険株式会社(本社:東京都北区、代表取締役社長:安達倫明)は、コロナ禍により葬儀の簡素化が進んだと言われている中、コロナ禍3年間における葬儀の実態を把握すべく、この間に「喪主(喪主に準じた立場の方を含む)となられた方」、同「葬儀に参列された方や葬儀経験のない方」に対する意識アンケート調査を実施し、合計1,768名の方から回答を得ました。

同アンケート調査結果は、以下の通り、順次公表しています。

- ① 「喪主(喪主に準じた立場の方を含む;以下「喪主等」)経験層」へのアンケート結果(7月31日公表済)
※参照サイト <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000060.000084326.html>
- ② 喪主等経験以外の「葬儀参列経験あり、同経験なし層」へ(以下、「喪主等以外」)のアンケート結果報告(8月3日公表済)
※参照サイト <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000061.000084326.html>
- ③ 「喪主等経験層」と「喪主等以外層」における葬儀等に対する意識比較報告(8月10日公表)

ベルコグループとしては、本調査結果が今後、葬儀を執り行われる方の参考になるとともに、ご逝去された方との充分なお別れに繋がっていければと願っております。

■ コロナ禍の葬儀に関するアンケート調査の概要

調査対象：全国 40歳以上で過去3年以内に喪主等経験あり、同葬儀参列経験あり・なしを事前に確認した後、「喪主等経験層」と「喪主等以外層」に分けて具体的なアンケートを実施

調査方法：インターネット調査

調査期間：2023年6月20日～2023年6月29日まで

調査会社：ジャストシステム(株)

回答人数：喪主等(喪主に準ずる立場の方を含む)経験層 878名、喪主等以外層(喪主等以外の葬儀参列経験あり・なし)890名、合計 1,768名

※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります

上記アンケート結果報告の第3弾では、これまで報告した「喪主等経験層」および「喪主等以外層」へのアンケートから比較できる内容について報告いたします。その概要は次頁の通りです。

I. コロナ禍で実際行われた葬儀と今後想定される葬儀では大きな違い

※別紙アンケート調査(喪主等経験層と喪主等以外層の比較編)詳細 P1～2 参照

- 今回のアンケートでは、「喪主等経験層」と「喪主等以外層」にわけて実施しているが、葬儀(形態)に関しては、実際の葬儀、今後の想定される葬儀など、各々以下の質問を行った。

喪主等経験層	①コロナ禍(3年間)に実際に執り行った葬儀
	②コロナ禍でなければ執り行いたい葬儀
喪主等以外層	③もし喪主等になったら執り行いたい葬儀
	④ご自身が希望する葬儀

- その結果、「一般葬」の回答比率に喪主等経験層(30%台)と喪主等以外層(10%以内)で大きな差異が認められた。しかし、想定の問題となる②、③、④については、一般葬の回答比率減少分が他の葬儀形態に移行したというより、「特に希望はない/わからない」という回答が増えている結果となった。

対象	質問項目	一般葬比率	家族葬比率	特になし比率
喪主等 経験層	①実際の葬儀	34.4%	55.1%	—
	②コロナ禍でなければの葬儀	31.1%	47.9%	11.8%
喪主等 以外層	③もし喪主等になった場合の葬儀	8.7%	48.2%	28.7%
	④ご自身が希望する葬儀	7.3%	45.2%	23.7%

(注)葬儀形態のうち、回答比率の高い一部のみ抽出して掲載

II. 葬儀の事前準備は「喪主等」と「喪主等以外」とともに大半は「事前準備なし」という結果に

※別紙アンケート調査(喪主等経験層と喪主等以外層の比較編)詳細 P2 参照

- 喪主等および喪主等以外の方に葬儀の事前準備の有無を聞いたところ、双方ともに「事前準備なし」が過半数以上を占める結果となった。

III. コロナ禍の葬儀簡素化傾向に対する意識にも喪主等と喪主等以外では大きな違い

※別紙アンケート調査(喪主等経験層と喪主等以外層の比較編)詳細 P3～4 参照

- 今回のアンケートでは、喪主等および喪主等以外の方に「コロナ禍で認められた葬儀の簡素化傾向」についての考えを聞いている。その結果は、喪主等経験層と喪主等以外層では、以下のように回答傾向には大きな違いが認められた。
 - 喪主等経験層で喪主等以外層と比較して多かった回答は、コロナ禍という現状を理解した上での葬儀であったと思われる「葬儀の簡素化は流行っているので仕方がない(38.5%)」「コロナ禍は参列者への配慮からやむを得ない(46.8%)」であった。
 - 喪主等以外層で喪主等経験層と比較して多かった回答は、今後、自らが経験するであろう葬儀を意識されているのか、「故人の遺志を尊重すべき(34.8%)」「遺族の考えを尊重すべき(32.5%)」であった。

◆ベルコおよびみどり生命保険の会社概要

商号	株式会社ベルコ	みどり生命保険株式会社
所在地	大阪府池田市空港1丁目12-10	東京都北区王子6丁目3-43
設立	昭和44年4月3日	平成20年8月
総資産額	3,453億円（うち株主資本金784億円）	総資産590億円(うち資本金100億円)
主な事業 内容	冠婚葬祭互助会（経済産業大臣許可第5006号） 互助会加入人口数:約266万	生命保険事業 生命保険保有契約件数:約27万件
URL	https://www.bellco.co.jp/	https://midori-life.com/

◆ベルコグループの概要

事業ブランド	互助会・葬儀事業	結婚式・ホテル・多目的ホール	生命保険事業
関係会社 関連施設	(株)ベルコキシウ（田辺市） (株)マリアージュインベルコ（滝川市） (株)ベルコ東山口（周南市） (株)阪南互助センター（岸和田市） (株)ベルライフ（津市） (株)ベルコ三河（豊橋市）	ホテルベルクラシック 2カ所 結婚式場 ベルクラシック他 30カ所 ウェディングチャペル 6カ所 コスチュームサロン 5カ所 多目的ホール 243カ所 ※海外ウェディングも実施	みどり生命保険(株) 2008年に内閣総理大臣 より生命保険業の免許取得 資本金100億円 総資産590億円 保有契約27.2万件

<本プレスリリースに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルコ 広報部 TEL：06-6850-2292
みどり生命保険株式会社 企画部 TEL：03-5902-3962

【別紙】コロナ禍の葬儀に関するアンケート調査(喪主等経験層と喪主等以外層の比較)結果の詳細

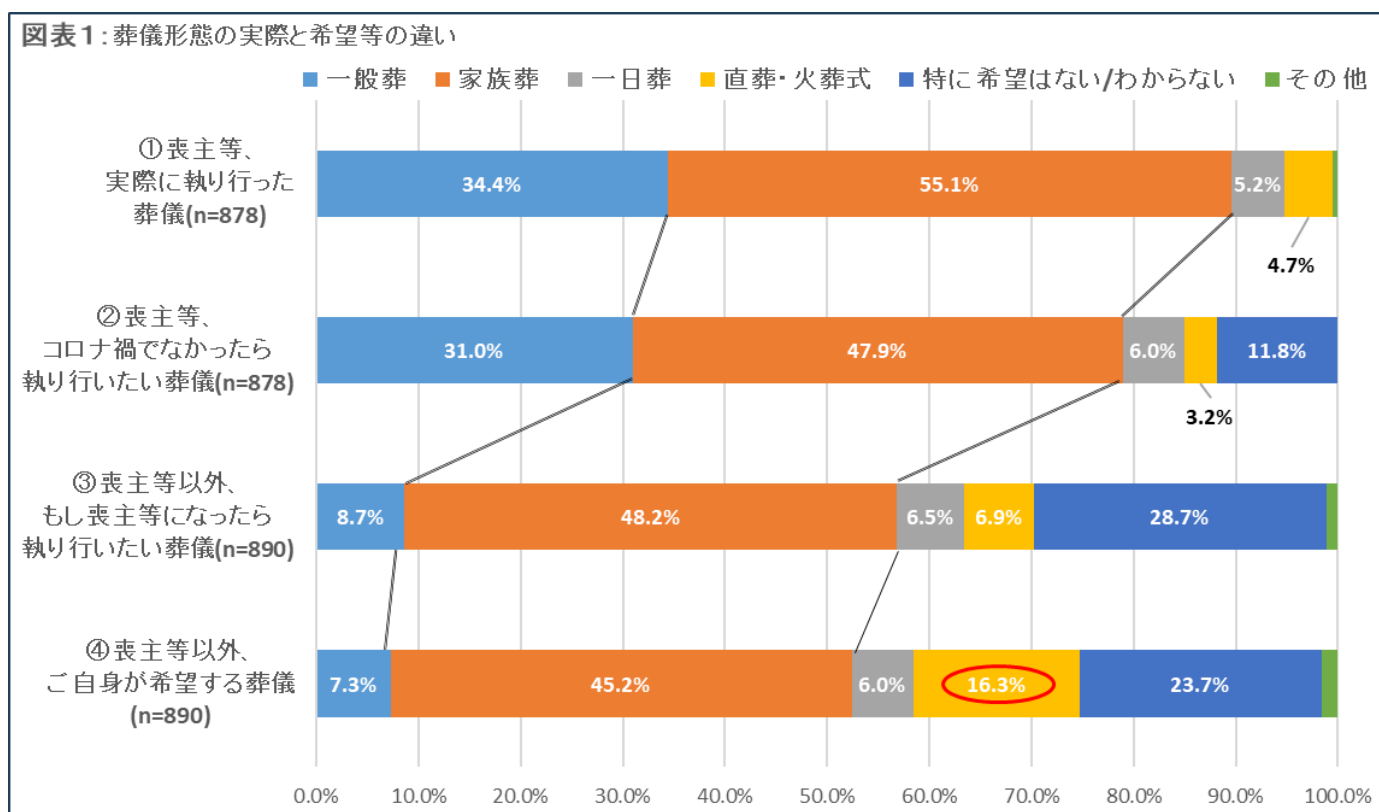
※第3弾では、これまで報告した喪主(喪主および喪主に準じた立場の方を含む:以下「喪主等」)経験層、喪主等以外層(葬儀参列経験あり、なし)への各々のアンケート結果を比較するとともにコロナ禍での葬儀簡素化傾向に対するアンケート等を基にした結果報告である。

1. 実際に行われた葬儀と想定される葬儀形態の違い

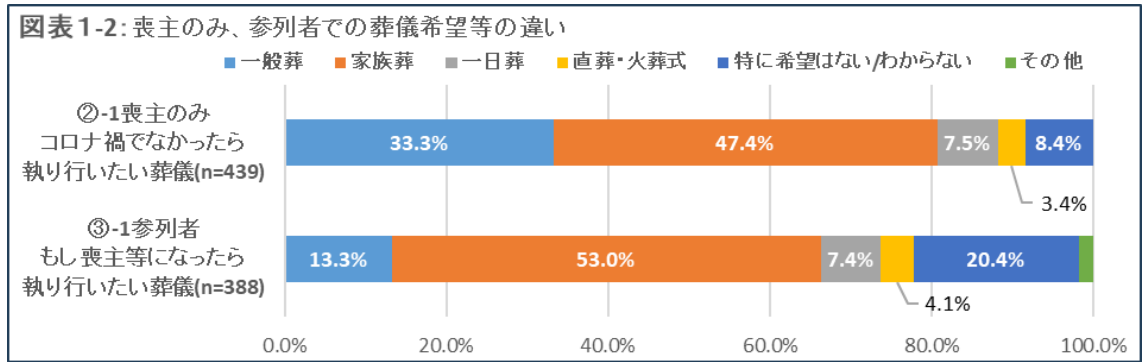
- 今回のアンケートでは、「喪主等経験層」と「喪主等以外層」にわけて実施しているが、葬儀の形態に関しては、実際の葬儀、今後の想定される葬儀など、各々以下の質問を行った

喪主等経験層	①コロナ禍(3年間)に実際に執り行った葬儀
	②コロナ禍でなければ執り行いたい葬儀
喪主等以外層	③もし喪主等になったら執り行いたい葬儀
	④ご自身が希望する葬儀

- その結果は図表1の通り、「一般葬」の回答比率に関して、喪主等経験層(30%台)と喪主等以外層(10%以内)で大きな差異が認められた。しかし、想定質問となる②、③、④については、一般葬の回答比率減少分が他の葬儀形態に移行したというより、「特に希望はない/わからない」という回答が増えている結果であった
- また、喪主等以外層「④ご自身が希望する葬儀」では「直葬・火葬式」が増加しているのが、特徴的である

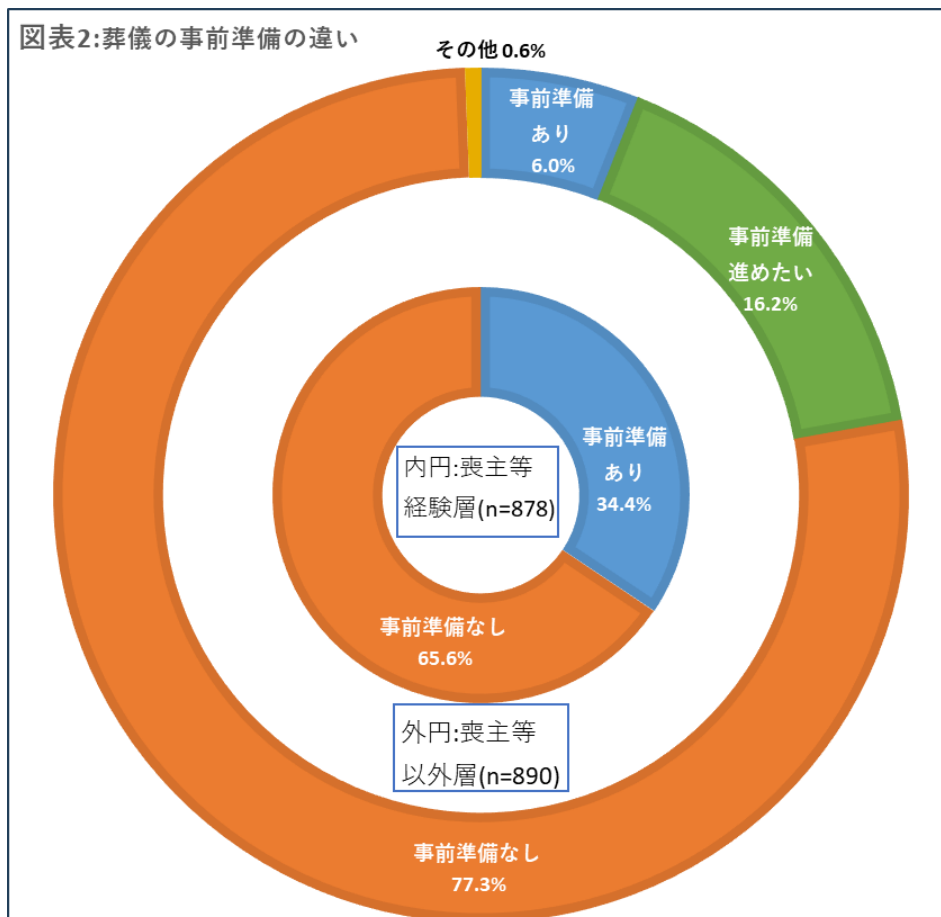


- さらに、上記②と③の質問に対して、葬儀経験・葬儀への思いが他の方より「あり」と思われる「喪主のみ」「葬儀参列経験者」の場合の回答比率をみると、図表1-2の通り、「喪主のみ」の②-1では、「特に希望はない/わからない」の比率が減少し、「一般葬」の回答比率が増加(31.3%⇒33.3%)している。また、「葬儀参列経験者」の③-1では、上記と同様に「特に希望はない/わからない」の比率が減少し、「一般葬(8.7%⇒13.3%)」と「家族葬(48.2%⇒53.0%)」に増加している結果となった



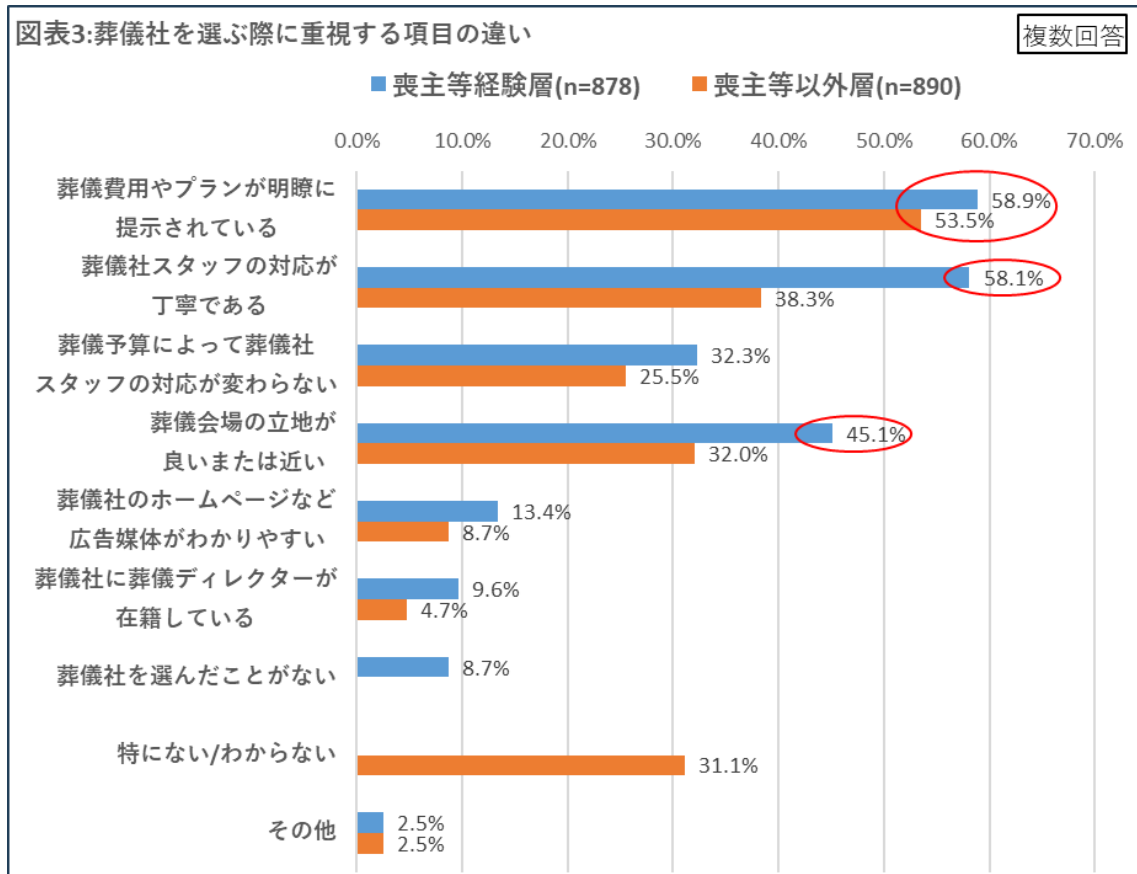
2. 葬儀の事前準備に対する「喪主等経験層」と「喪主等以外層」の違い

- ・ 喪主等および喪主等以外の方に葬儀の事前準備の有無を聞いたところ、図表2の通り、双方ともに「事前準備なし」が過半数以上を占める結果となった
- ・ 喪主等経験層と喪主等以外層の事前準備あり比率においても、喪主等以外層の「事前準備を進めたい」という回答を含めたとしても「10ポイント」の差異が認められた



3. 葬儀社を選ぶ際に重視する項目の違い

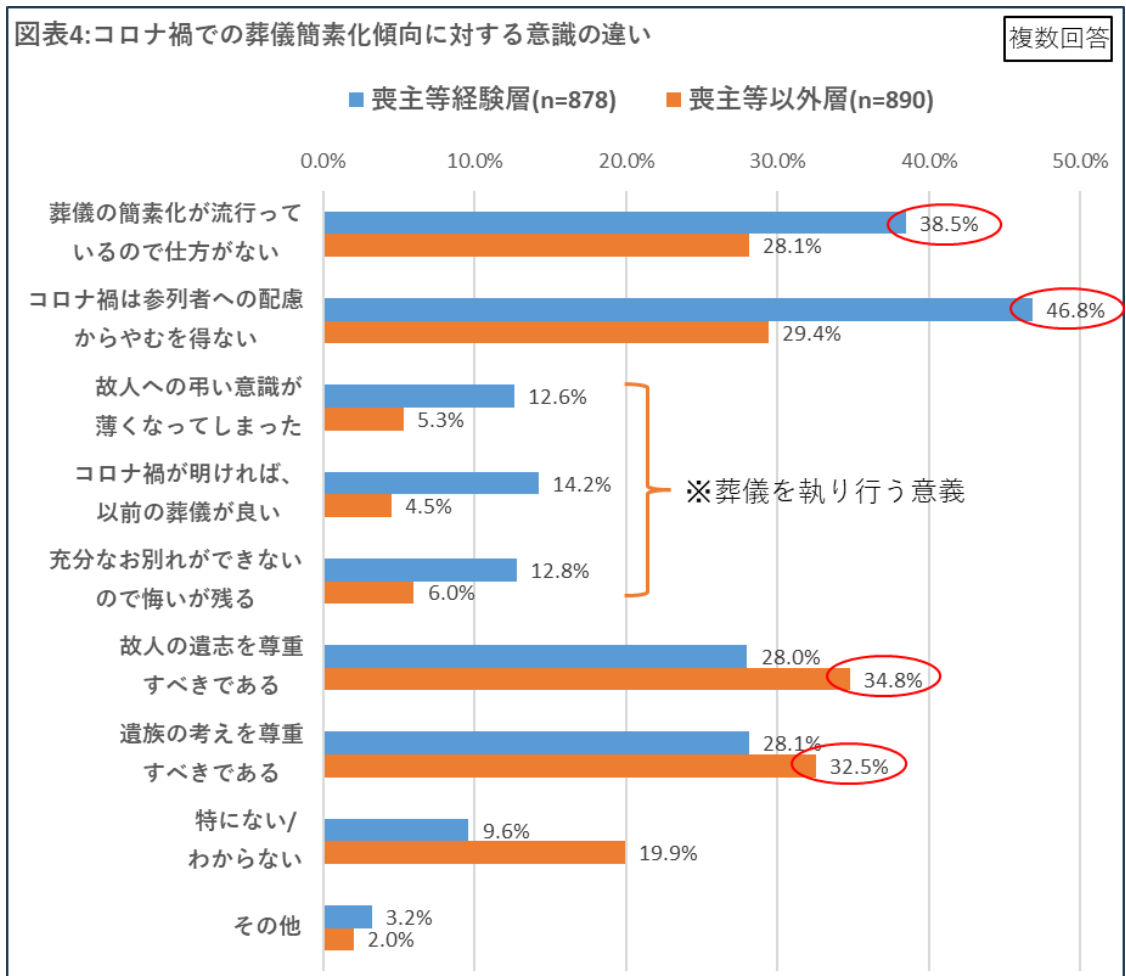
- 今回のアンケートでは喪主等および喪主等以外の方に「葬儀社を選ぶ際に重視する項目」について聞いている。その結果は図表 3 の通り、双方ともに「葬儀費用やプランが明瞭に提示されている」項目に、半数以上の方が回答している。また、葬儀経験がある喪主等経験層でみると、「葬儀会社スタッフの対応が丁寧(58.1%)」「葬儀会場の立地(45.1%)」が高い回答結果となった



4. コロナ禍での葬儀簡素化傾向に対する意識の違い

- 今回のアンケートでは、喪主等および喪主等以外の方に「コロナ禍で認められた葬儀の簡素化傾向」についての考えを聞いている。その結果は、図表 4 の通り、喪主等経験層と喪主等以外層では、以下のように回答傾向には大きな違いが認められた
 - 喪主等経験層で喪主等以外層と比較して多かった回答は、コロナ禍という現状を理解した上での葬儀であったと思われる「葬儀の簡素化は流行っているので仕方がない(38.5%)」「コロナ禍は参列者への配慮からやむを得ない(46.8%)」であった
 - 喪主等以外層で喪主等経験層と比較して多かった回答は、今後、自らが経験するであろう葬儀を意識されているのか、「故人の遺志を尊重すべき(34.8%)」「遺族の考えを尊重すべき(32.5%)」であった
 - 「※葬儀を執り行う意義」に当たると考えられる 3 つの回答項目に関しては、喪主等経験層の方が総じて葬儀の簡素化傾向を憂う比率が多くなっている結果となった
 - 参考までに喪主等経験層において、「※葬儀を執り行う意義」の回答項目に関して、より多い回答比率となった属性をクロス分析で確認したところ、喪主等が比較的若い層である「40 歳～44 歳の方」、「葬儀に掛かった総額費用が 200 万円超の方」、「もしコロナ禍でなかったらどう葬儀を執

り行いたかったかとの問いに『一般葬』と回答した方」、「葬儀の満足度質問において『不満である』と回答した方」という結果であった



以上

